

高尾山モミ希少個体群保護林

希少-48

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 東京神奈川森林管理署
所在地	東京都八王子市
面積	4.85 ha
設定年	1990(H2)年
保護林の概要 (設定目的)	モミの天然分布の限界と言われている暖温帯上部から冷温帯下部に成立しているモミ林で、植生分布上及び学術上貴重であることから、分布限界のモミが生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モミ群落(2019.08.26撮影)



モミ群落(2019.08.26撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2009年、2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、モミの生育地において調査プロットを合計3箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	上層木を構成する高齢級のモミは、枯損や風害による倒木により減少傾向にあり、常緑カシが優勢になりつつある。ニホンジカによる採食圧により、前回調査時より草本層、低木層の植被率低下が見られ、モミ稚樹は前回確認時より減少しており、今後の群落の更新に対する影響を注視する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。